

慣用句② 気持ちを表す言い方

❶ たしかめ --- ❷ いっしょに --- ❸ やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

も あらわ かんようく
気持ちを表す慣用句のいみを知ろう

❶ まず、たしかめよう

- むねがおどる...うれしくて、わくわくする
- かたを^お落とす...がっかりする
- 顔から火が出る...とてもはずかしい
- むねをなでおろす...ほっと^{あんしん}安心する

❷ いっしょにやってみよう

れい 「むねがおどる」はどんな気持ち？

① むねは 本当には
おどらない。

② 楽しみで、
わくわくする。

③ うれしくて
わくわくする

❸ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「顔から火が出る」に合うのは？

☐ みんなの前で ころんで、はずかしかった

☐ かぜをひいて、ねつが出た

② 「かたを^お落とす」に合うのは？

☐ 楽しいな 花火が 中止になり、がっかりした

☐ おもい にもつを おろした

③ () に入る言葉を書こう。「あしたから^{りょこう}旅行だ。() おどる。」

() おどる

答え 1. みんなの前で ころんで、はずかしかった 2. 楽しいな 花火が 中止になり、がっかりした 3. むね

ようやく
要約しよう②

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

だんらく じ
段落ごとの大事なことをつないで、まとめよう

ぶんしょう
文章を読もう

- ① 駅や道で、黄色い でこぼこのあるブロックを見たことがあるだろうか。
これは点字ブロックといい、目の不自由な人が、安全に歩くためのものだ。
- ② 点字ブロックには、二つの形がある。線の形のものは、進む方こうを表す。点の形のものは、止まるところや、気をつけるところを表す。
- ③ 目の不自由な人は、足のうらやついで、このでこぼこを感じとって歩く。だから、ブロックの上にものを置かないことが大切だ。

いっしょにやってみよう

れい てんじ
点字ブロックは、何のため？

① ①の段落を読む。

② 「～ためのものだ」
を見つける。

③ 目の不自由な人が
安全に歩くため

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の形のブロックが表すことは？

☐ 進む方こう

☐ 止まるところ

② ブロックの上で、しないほうがよいことは？

③ 要約に入れたい 大事な言葉を2つえらんで ○をつけよう。

☐ 目の不自由な人

☐ 安全に歩く

☐ 黄色い

答え

1. 進む方こう 2. ものを置くこと 3. 目の不自由な人・安全に歩く

かんじ
漢字 (うごき⑥)

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (2もん)

🏠 きょうの
めあて

かんじ す ととの き てい
うごきの漢字「住・整・決・定」を読んで書こう

🔍 きょうの漢字

住

音 ジュウ

くん 訓 す (む)
す じゅうしょ
住む・住所

整

音 セイ

くん 訓 ととの (える)
ととの せいり
整える・整理

決

音 ケツ

くん 訓 き (める)
き けつてい
決める・決定

定

音 テイ

よてい ていきゅうび
予定・定休日

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「きめる」を漢字で書くと？

① どれにするかえらぶ

② 「決める」と書く

③ 答え **決** める

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 住所を書く。

(2) 本を整理する。

(3) 決定する。

(4) 予定を立てる。

② □に漢字を書こう。

(1) 森に むリス。

(2) つくえの上を える。

(3) 色を める。

(4) 店の 休日。

答え 1. (1) じゅう (2) せい (3) けつ (4) てい 2. (1) 住 (2) 整 (3) 決 (4) 定

本から引用する

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

本の言葉を、正しく引用しよう

まず、たしかめよう

- 本の文や言葉を、「 」をつけてそのまま書くことを引用という。
- どの本から引用したか（本の名前・書いた人）も書く。これを出典という。

いっしょにやってみよう

図かんに「ペンギンは、海の中を とぶように泳ぐ。」とある。

① ぬき出す文を
そのまま書く。

② 「 」をつける。

③ 本の名前も書く。
（『海の
生き物図かん』より）

やってみよう

できたところまでで OK

1 引用の書き方で正しいのは？

☐ 本に「海の中を とぶように泳ぐ。」とある。

☐ 本に「泳ぎが うまい。」とある。（自分の言葉にかえた）

2 引用するとき、いっしょに書くことは？

☐ 本の名前や書いた人

☐ 本のねだん

☐ 読んだ時こく

3 上の文から「とぶように泳ぐ」を引用して、文を書こう。

- 答え 1. 本に「海の中を とぶように泳ぐ。」とある。 2. 本の名前や書いた人
3. 例：図かんには、ペンギンは「とぶように泳ぐ」と書いてある。

スピーチをしよう

たしかめ --- いっしょに --- やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「わけ」と「れい」を入れて、^{みじか}短いスピーチを作ろう

まず、たしかめよう

- スピーチの組み立て：言いたいこと → わけ（～からです） → れい（たとえば～） → まとめ

いっしょにやってみよう

れい 「わたしは、雨の日がすきです。」

① わけ：音が楽しいから

② れい：かさに当たる音

③ まとめ：雨の日も楽しい

やってみよう

♡ できたところまでで OK

1 「れい」を言っている文は？

☐ たとえば、かさに当たる ぽつぽつという音です。

☐ 音が楽しいからです。

2 スピーチでいちばん はじめに言うことは？

☐ 言いたいこと

☐ まとめ

☐ れい

3 すきなことを一つえらび、「わけ」と「たとえば」を入れて、スピーチの文を書こう。

答え

1. たとえば、かさに当たる ぽつぽつという音です。 2. 言いたいこと

3. 例：ぼくは、絵をかくことがすきです。思ったとおりに色をぬれるからです。たとえば、空を むらさきにぬったこともあります。